

石央商工会だより

第119号
発行
石央商工会
浜田市金城町下来原
TEL 0855-42-0070
FAX 0855-42-1783



浜田のモノを買おう！浜田を応援しよう！

石見のまんなか神楽市 10周年記念事業開催！

6月10日、11日に「旭町のまんてん」にて青年部による「第5回石見のまんなか神楽市」が開催されました。また、11日には、「石央商工会

合併10周年記念事業セキオー！うるトラ市」を同時開催し、2日間で約35百人の来場で賑わいました。両日とも様々な団体・企業に出店頂き、山間の豊かな自然の中で、豪華出演団体による神楽上演と共に食も楽しんでもらいました。特に11日には、地



域の食材を使用したオリジナルグルメ10品の順位を、人気投票で決めるSーイグランプリを開催し、大いに盛り上がりました。各店舗とも地域の素材を活かした魅力満載のオリジナルグルメを提供されており、多くの来場者とその味を楽しんでいました。

★ Sーイグランプリ 結果 ★
ちなみに順位はと言いますと：

- 1位 ばとうサンド 青年部 国府支部
- 2位 三隅たこやき 青年部 三隅支部
- 3位 さざえ飯 女性部 国府支部



一方、同時開催しました、合併10周年記念事業イベント「セキオー！うるトラ市」では、会員企業15社によるトラツク市が行われ、特産品販売だけでなく、神楽衣装の展示、更には、車の展示やポルトガルオフロードバイクの展示試乗までありました。



また、石央管内の特産品が通常価格の半額以下で購入できる「福袋コーナー」や地域特産品が当たるお楽しみガラポン抽選もあり大いに賑わいました。当日は、午前中激しい雨が降るなど、あいにくの空模様でしたが、神楽市や10周年イベントの熱気で、午後は何とか天気も持ち直してくれました。神楽市は次回第6回へ向けての準備が始まっています。そして、次回商工会合併記念イベントは、5年後？までお楽しみに待っていてください。最後に、この合併10周年記念事業イベントの準備と協力を頂いた事業委員会や青年部の皆様、大変ありがとうございました。

イベント編

輝いている女性部



田中順子さん
池辺歌子さん
勝野淳子さん

三隅支部の女性部は、「石央商工会合併10周年記念事業イベント」にトラック

はありませんでした。が、トラック市に出店して来ました。

ここで販売した商品は、石州和紙で作成した素敵な模様のコースターとしおり、また三隅女性部員が製作したクラフトペーパーの小物入れでした。

このクラフトペーパーは約15年前、島根県商工会女性部連合会の環境対策事業で推進されていた地球に優しいエコバック作りがきっかけで製作するようになったものです。今では、かばんなどのオリジナル商品が製作できるまでになり、このイベントでも、カエル・フクロウのペイン立て、子供たちが喜びそうなかわいらしい小物入れや、箸やスプーンを入れる



トレーなどを出品しました。

嬉しいことにクラフトペーパーのオリジナル小物入れはすぐに完売！購入してくださったお客さんにも大変喜んでもらえました。

また、あるお客さんから「クラフトペーパー作品の作り方の講師をしてもらいたい」といった嬉しいお話もありました。これをきっかけに、女性部活動の幅が広がり、新しい人との出会い、そして部員増強につながることを期待しています。

次回は、さらにパワーアップした作品をご紹介できるように、部員一同頑張ってくださいね。

最後に：田中部長より一言です。「石央商工会合併10周年記念事業イベント」に参加でき楽しかったです。ありがとうございました。青年部の皆様、スナップの皆様お疲れ様でした。」

新部長に聞く！

頑張っている青年部



氏名 徳川 龍
会社名 (有)旭運送
業種 運送業
所属 旭支部

昨年まで青年部旭支部長をさせて頂き、今年度より石央商工会青年部の部長を務めさせて頂くことになりました。一人ではできないことも多いですが、部員の力を借り、明るく楽しく真剣に！をモットーに、部員一丸となり頑張っているように思います。

先日開催された「第5回石見のまんなか神楽市」では、合併10周年事業もあり、今まで以上に役員をはじめ多くの会員にご協賛戴き大変感謝しております。次回に向け、今回の反省をし、更に良いイベントにしていこうと頑張ります。

また、こうした各種イベントや研修を通じ、部員一人一人が少しずつ成長し、各社の成長へ繋がるように頑張っていこうと思っております。会員の皆様には、これからも変わらぬご支援・ご指導頂きます様よろしくお願い致します。

小規模事業者地域力活用新事業
全国展開支援事業
本体事業始まる！

全国展開支援事業とは、地域の活性化につながる新事業への取り組みを支援することを目的にした、中小企業庁の補助事業です。

商工会が基点となつて、事業者や地域そして関係機関と一緒に、浜田市の地域資源や観光資源を上手くコーディネートし、これまでにない発想や新鮮さのある仕掛けづくりを行って、集客・消費の拡大につながるようにしていこうというものです。

昨年度から始まったこの事業は、「調査研究事業」として採択され「食と観光による交流人口の拡大」をテーマに資源の再調査と掘り起しを行いました。

本年度は、「本体事業」として、昨年の調査研究事業をもとに「浜田市と地域資源を広く全国にアピールしていくためにはどうすべきか」の実験段階になります。

特に本年度は、石央管内の出発点（食や地域）から、その他の地域への広がり（観光、体験）を生み出すことを念頭に、

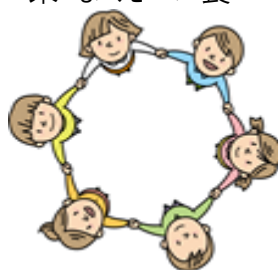
着地型観光プログラムの開発やテストマーケティング、情報発信などを考えています。

今は、SNS（ソーシャルネットワークキング サービス）が発達した情報社会です。

「地域の特性」や「食と観光」を他地域の方々に、目を留めてもらえて、訪れたいくなるような情報をいかに発信出来るかが大変重要です。

どこで、どんなものがヒットするか分からない時代となってきました。より効果的な情報発信が求められています。

テーマである「食と観光による交流人口の拡大」を追求し、地域の活性化に向けて、皆様のお力添えをいただきますながら知恵を絞り行動していきますので、よろしくお願いいたします。



※SNSとは：

フェイスブックやインスタグラム、ライン、YouTubeなどを活用しインターネットで個人間のコミュニケーションや、人と人をつなげることを主目的とした機能、サービスのこと。

職員のキチヨウな話

セルフメディケーション制度を上手に活用しましょう！

今年から、特定の医薬品購入に対する新しい制度「セルフメディケーション制度（医療費控除の特例）」がはじまりました。

このセルフメディケーション制度とは、購入したOTC医薬品（かぜ薬・胃腸薬・湿布などドラッグストアや薬局で、処方箋なしに購入できる医薬品が対象、置き薬も対象）が年間1万2千円を超えた金額（上限8万8千円）について所得控除を受ける事が出来ます。

対象商品のパッケージには、左図のようなマークが表示されており、レシートにも左図のように表示されています。

セルフメディケーション



〇〇薬局	
〇〇〇〇店	
TEL 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	
【領収書】	
〇〇年〇月〇日(月) 〇〇:〇〇	
ハブラシ	¥100
ハミガキ	¥420
★カゼグスリ	¥1200
小計	¥1720
内消費税	¥137
合計	¥1857
お預かり	¥2000
お釣り	¥143

★印はセルフメディケーション対象商品

マークは、対象の医薬品であっても表示されていない場合があるので、レシートで判断してください。

とここで、これまでの医療費控除とどこが違うのといえますと…。

これまでの医療費控除でも、ドラッグストアや薬局で買う風邪薬等も対象になっていました。しかし、その医療費控除には、**医療費の合計が年間10万円**、または「**所得合計の5%**」（所得が2百万円未満の場合）を超えないと使えませんでした。

例えば所得が100万円の方であれば医療費が、その5%の5万円を超えていなければ医療費控除を適用できませんでした。そのため、医療費控除のハードルの高さに二の足を踏み、「医療費控除なんてどうせ関係ないし」と、薬局のレシートを破り捨てていた方も少なくないでしょう。

それに対し、新しいセルフメディケーション税制では、その医療費控除のハードルが**年間1万2千円**と低めに設定されていますので、普段あまり病院には行かず、薬局などで薬を買って自分で治しているという人にも、所得控除を受けられるようにした制度なのです。ただし条件もあります。

【条件】
所得税・住民税を納めていて、控除を

行う本人自身が①特定健康診査（メタボ健診）②予防接種③定期健康診断④健康診査⑤がん検診などを行っていない必要があります。

そのため、確定申告では、薬代のレシートと一緒に、これらの予防接種や検診の領収書又は結果通知表を提出する必要があります。

なお、セルフメディケーション制度と、従来の医療費控除を同時に利用することは出来ませんのでご注意ください。まずは、薬のレシートを年末まで取っておくことが大切です。（三隅支所・上川）

お知らせ

マル経（小規模事業者経営改善資金）

商工会では、経営指導を受けている小規模事業者の商工業者が、経営改善に必要な資金を無担保・無保証人でご利用できる制度があります。ご利用頂くには、商工会からの推薦が必要となりますので、まずは本支所までお問合せください。

【融資限度額】

2千万円

【返済期間】

運転 7年以内
設備 10年以内

【利息】

1.1%（6月20日現在）

職員コラム

このコラムのイニシャルは苗字・名前の順番です。どの職員かはご想像しながらお楽しみください。

ある朝4時頃のことです。腹痛と膀胱炎のような症状で目が覚めました。

その後吐き気もあり、トイレから出られなくなりました。何度も布団とトイレを往復しましたが、症状は改善しません。何回も「救急車を呼ぼう。」と思いましたが、電話をする元気もありません。

ようやく10時半ごろ少し痛みが和らいたので近くの病院を受診しました。尿検査をしてみてもびっくり、血尿！でした。「尿路結石ですね。膀胱に落ちるまでと、膀胱から排出され、体外に出るまで痛いですよ。」と言われて鎮痛剤をもらいましたが、幸いその後は痛みがありません。

石ができる原因は多々ありますが、普段の水分不足も関係あるらしいのです。そう言えば、あまり摂っていないかも？本当に健康の有難さが分かった出来事でした。

その時の痛みは私にとってはお産よりつらく感じたので、（ほぼ忘却の彼方で薄れているだけ？）今私の膀胱の中にあると思われるその石が再び痛みを起すと思うと非常に恐怖です。



(H・M)